

新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日4月22日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、4月29日（火曜日）からです。

『落書きに歴史をよむ』

三上 喜孝／著、吉川弘文館／刊、請求記号：210.02/ Mi,21

内容：今も各地の古寺に残る、参詣者や武士らの「落書き」。彼らはその文字にいかなる思いを含め、なぜそこに書き記したのか。山形県・若松寺観音堂などの「落書き」から、社会と向き合う人々の心のありようを歴史的に考える。

著者紹介：1969年東京都生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。国立歴史民俗博物館准教授。博士(文学)。著書に「日本古代の貨幣と社会」「日本古代の文字と地方社会」など。

『世界遺産イエーイ!!』

旅ブログ「世界遺産イエーイ!!」／著、扶桑社／刊、請求記号：290.9/ Ta,12

内容：「世界遺産」をテーマに、4年かけて世界を歩いたバックパッカー夫婦が、見てきた513件の世界遺産のうち、オススメの50件を詳細に紹介する。絶景&オモシロ旅写真も満載。旅ブログ『世界遺産イエーイ!!』を書籍化。

『カタツムリが食べる音』

エリザベス・トーヴァ・ベイリー／著、飛鳥新社／刊、請求記号：484.6/ B,14

内容：難病に苦しむ著者に、生きる希望の灯をともしたもの、それは病床に偶然やってきた一匹の小さな生きものが、生を奏でる微かな音だった。一人の女性と一匹のカタツムリの絆を描いたノンフィクション。

著者紹介：「カタツムリが食べる音」で2012年ウィリアム・サローヤン国際賞を受賞。アメリカ、メイン州在住。

『夏目漱石の手紙に学ぶ伝える工夫』

中川 越／著、マガジンハウス／刊、請求記号：910.26/ N,58

内容：気持ちを通わす、こころの伝え方、そのヒントは漱石の手紙にあった! 夏目漱石の手紙の原文と現代語訳を掲載し、ユーモアと親愛に包んで本心を伝える工夫52のヒントを紹介する。

著者紹介：1954年東京都生まれ。雑誌・書籍編集者を経て、執筆活動に入る。手紙に関する書籍を執筆し、手紙の価値や楽しさを紹介。著書に「文豪たちの手紙の奥義」「手紙・はがき書

き方事典」など。

『健康に生きる覚悟』

森村 誠一／著、KADOKAWA／刊、請求記号：914.6/ Mo,56

内容：80代でも現役作家。生涯仕事を続けるための極意とは？作家デビュー以来48年間、試行錯誤しながら生活スタイルをつくりこんできた森村誠一が、自身の健康に対する考え方と実践を紹介する。

著者紹介：昭和8年埼玉県生まれ。青山学院大学文学部英米文学科卒業。9年余のホテル勤務を経て、本格的に作家活動を開始。「腐蝕の構造」で日本推理作家協会賞、「悪道」で第45回吉川英治文学賞受賞。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp